

■ 特集

平成26年度地区別座談会

みなさんの声を
20周年目の力に！



ぼくのわたしのお母さん



「漬物の煮物」

《材料》

- 青菜の漬物…………… 600g
- みりん…………… 大さじ1
- 砂糖…………… 大さじ1.5
- 酒…………… 大さじ1
- A** 油…………… 大さじ1
- 水…………… 大さじ1
- ほんだし…………… 少々
- 鷹の爪(刻んでおく)… 2~3本
- ごま油…………… 少々
- 黒ごま…………… ひとつまみ

《作り方》

- ①青菜の漬物を半日くらい水につけて、塩抜きする。食べてみて、塩味がなくなっていればOK(水に漬ける時間は、最長で24時間)。
- ②①を、ザルでしっかり水を切り、**A**と一緒に鍋に入れて、中火にかける。
- ③②を、菜箸などでかき混ぜながら煮る。汁がなくなないように注意する。
- ④味がととのったら、最後にごま油を入れて、さらに1~2分煮立てる。
- ⑤器に盛り付けて、黒ごまをふりかけてできあがり。



青菜の漬物を利用した、ちょっぴり中華風味の煮物です。辛いのが苦手な人は、鷹の爪は量を少なめにしたり、鍋に最後のほうで入れるようにして下さいね。ふりかけるのは白ごまでもOKです。いろんなものをふりかけて、鷹の爪との彩りを工夫してみてください♪

大石田町横山
えんどう と き こ
遠藤 トキ子 さん

2003年1月からのレシピを
ホームページに掲載。
献立に困ったらすぐアクセス
<http://www.mitinoku.or.jp/recipe/>

この農家に聞く。

本番はこれから！ Uターンでスタートした農業人生



PROFILE

村山市榎岡湯沢
とうかいりん あきら
東海林 聖さん (26歳)

■スイカ5畝・青菜2畝を栽培

「一年目は失敗、失敗、失敗でした」昨年から就農した東海林さん。今はまだ、手探りでやり方を模索する日々。積み重ねた経験を足がかりに、さらに広い見晴らしを目指す。

「農家になったきっかけは？」
以前は東京で働いていましたが、もともと農業をやりたいという気持ちは4年前に、「やりたいことをやるなら今地元に戻りました。親戚の農家で研修を受けて、本格的に就農したのは去年からです。一番のきっかけは、青年就農給付金の制度があったことでした。それがなければ農業の勉強はしていなかったかも知れません。

「就農当時と今の気持ちの変化は？」
なにしろまだ一年目なので、今は自分の仕事をいかにうまくこなすか、ということだけを必死に考えています。それに比べて青年部の先輩たちは視野も広いですね。集会で自己紹介をするときも、先輩たちは「地域を盛り上げたい」と言うんですが、私はまだ「収入を増やしたい」としか言えません。青年部は入って4年目になります。農家というの自分ひとりだけの世界だと今まで考えていましたが、組織での活動を通して、意外と横のつながりが大きいんだなと気がきました。

「一年の仕事の流れは？」

仕事の流れと言っても、去年は作業の段取りも分かりませんでした。また、スイカは自分の周囲でも栽培している人がおらず、違う地域の農家からやり方を聞きました。それでも、地域が違えば作業のタイミングも変わってきますからね。とにかく何をやるにせよ、後手後手で、失敗、失敗、また失敗と繰り返して、今になってやっと一年の農作業の流れが見えてきた気がします。

「農業で大切にしていることは？」

どんな作業でも「嫌がらず、飽きないで」やるのが大切だと思います。暑くても悪天

候でも、仕事はしなくちゃいけません。やらなきゃ結果は出ないです。農業はいい時と悪い時があるので、それを見極めて楽しめるようにしたいです。農作物を完璧に作って、相場も見極めて……。それができるセンスがあれば、きっと「最強の農家」になれるんじゃないかな。

「印象深い出来事は？」

青年部や育苗センターの組織に入ったことで、仲間が増えたことです。転作のこととか、地域のことについて、先輩たちがどんな問題意識を持っているのかを知ることができ、勉強になりました。それから、無人ヘリオペレーターの養成講座で勉強しました。「でっかいラジコンを飛ばせよ」と聞いてわくわくして講座に参加し、無事に免許も取得しました。今はミニチュア機を使って、腕がぶらぶらしないように練習中です。

「今後の目標を教えてください」

まずは、まともでちゃんとした農作物をこへる、いようになりたいです。今はまだ、何事も勉強だと思いつつ失敗を重ねていますが、いつまでも勉強ばかりにお金をかけていられませんか。しっかりと収入を得て、ゆくゆくは高額納税者になって（笑）、人と農業を続けていきたいです。



タレント・食生活アドバイザー●岡村真純

サヤエンドウ

サヤエンドウとは、エンドウマメを未熟な若いうちに収穫し、さやごと食べる時の名称です。旬は3月から6月にかけて。エビヤイカなどと一緒に炒めたり、卵とじにしたりしてもおいしく食べられます。

関東では、さやの長さが5cmほどで、薄くて柔らかい「絹さや」が主流ですが、関西では少し大きなオランダサヤエンドウが主流のようです。

サヤエンドウは水分、ビタミンCが豊富。カリウムも多く含まれます。カリウムは高血圧の予防に効果があり、塩分を多く取りがちな日本人は意識して摂取したい栄養素です。さらにサヤエンドウには疲労回復につながるビタミンB1や、抗酸化作用があり体の免疫力を高めるとされるベータカロテン、また女性が不足しがちな鉄分も含まれています。食物繊維も豊富なため整腸効果があり、便秘予防にもなります。

ちなみに、グリーンピースも、スナップエンドウも、トウモロコシも、みんなエンドウマメの仲間。エンドウマメは、「芽」から「豆」になるまでのさまざまな段階で形を変えて食べられています。

今月の表紙

「ぼくのわたしのお母さん」

村山市大久保
あしの たかゆき
芦野 貴之さん (40歳)
けいこ
恵子さん (40歳)
まどか
まどかさん (6歳)

春からピカピカの1年生のまどかさん。得意なものはピアノに英語に算数にスポーツ…と、なんでもこなす才気あふれる女の子です。フルートやギターにも興味があって、将来は「友だちと一緒に楽器の演奏をしたい！」と夢を話してくれました。お母さんのお手伝いもバッチリこなす、野菜の下ごしらえはお手のもの。今回は、おじいちゃんが作ってくれたブランコで写真を一枚。まるで「ハイジ」のように、元気いっぱいこいでくれました！

お母さんからお子さんへ

「ひとりっ子だから一人遊びをすることが多いけど、小学校でも友だちと仲良く過ごしてね。興味のあることは、なんでも最後までしっかりやり遂げてほしいです！」



Contents

- 食のはなし／今月の表紙……2
- 土が好き……3
- みちのく《ZOOM-ZOOM》平成26年度地区別座談会
みなさんの声を20周年目の力に！……4～5
- みちのくFLASH……6～9
- みんなのふれあい広場…10～11
- みちのくほいす／クロスワードパズルほか……12～13
- ふれあいINFORMATION……14～15
- わが家の味じまん……16

平成26年度地区別座談会

みなさんの声を
20周年目の力に！



冒頭であいさつする高谷組合長。座談会は2月27日に尾花沢営農センター（尾花沢地区）と大石田営農センター（大石田地区）で、3月2日にJA本店（村山地区）で開かれました

平成26年度も、管内3地区で地区別座談会が開催されました。当JAが合併してから20回目の実施となる今回の座談会。毎年、組合員の意見や要望をJA運営に反映させるために行われており、今年も各会場あわせて200人が出席しました。米政策、農協改革…重要なテーマが山積するなか、活発な意見交換が行われました。今回はその内容の一部をご紹介します。

Q 減反政策について、国の方針通り廃止の方向で検討しているのか、農協独自の減反を進めていくのか。

A 全体的な需給量のバランスや、価格の安定のため、JAとしては減反を進めていく。あくまでも行政と一体となり、地域全体として行いたい。

Q 飼料用米の取り組みについて伺いたい。

A 27年度の自主的取り組みによる大幅な減反により、各地区で新たに飼料用米の新規作付を行うことが決定している。国の交付金などを利用し所得向上につなげていく。ただし、契約数量を超えた分は主食米として扱うため、主食米と同じ品質管理をお願いしたい。

Q 米政策について、国は30年度から転作の強制はしないとしている。JAも稲作農家も米に

頼った経営は考え直さないといいのではないか。

A 国からの生産数量の配分は、平成30年でカットされる。今後も米を作る場合、生産者が自ら生産数量の調整をしなければ、米価格は維持できなくなる。野菜・果樹では限界があるので、飼料用米を主力として、最終的にはJA独自ではなく、農業再生協議会が全体の窓口になって生産調整に取り組むことになるのではないかと。

Q 米の輸出拡大は単協として取り組むのか、全農を通して行うのか。今後の見通しは。

A 県産米輸出プロジェクトを立ち上げており、輸出量は年々増加している。しかし輸出先は東南アジアに限られており、量的にも少なく、単協での販路の開拓は難しい。県や全農と一体となって、今後も、山形の米の輸出を拡大していきたい。

Q 政府による農協改革の目的は。単協のメリットはあるのか。

A 改革の本来の目的は、単協が自由に活動し、組合員の所得向上や農業の発展に寄与できるようにすること。例えば全農の株式会社化をした場合、卸との直接取引や独自販売が増え、資材の安価提供と生産物の高値販売も期待される。

Q 中央会の当初の目的は何だったのか。

A 中央会の当初の目的は「組織の統括」にある。単協で解決できないような、農業・農協・地域に関わる問題について、解決に向けて組織的に運動をしていくためのまとめ役。

Q 営農事務所は今後どのようなのか。

A 現状は、農政や農協改革問題などいろいろな課題があり、組合員の意見を聞きながら、3カ年の中で検討していきたい。

Q 農機具を新品で購入するのは難しい。中古品の情報を分かりやすく示してほしい。

A 中古の農機具は、メンテナンス状況によっては当たりはずれが大きく、下取りしたものは処分してきた経過がある。しかし、今後は需要が増えると思われるので、中古品の情報をホームページに掲載するなどしていきたい。

Q 資料の中に「JA出資型農業生産法人設立」とあるが、人材派遣も行うのか。高齢化が進み、ますます人手が不足すると思う。JAが人材育成を行う派遣してほしい。

A JA出資型農業生産法人は、農協の出資を活かすJA主導型の農業法人となる。今後こうした組織を活用しながら、3カ年計画の中で問題解決に向けて方向付けをしていきたい。

Q すいか選果施設の建設整備について、西部すいか選果施設も早めにお願したい。

A 生産部会の関係者を含め、建設検討委員会を立ち上げて検討している。二つの選果施設を同時に整備するのは難しい。平成27年度の出荷終了後に東部の整備に入り、平成28年度から稼働

を始める予定だ。西部の方は、できれば平成29年度から稼働できるように改めて行政に要請していきたい。

Q フレコン集荷が増えて、保管倉庫が手狭だ。低温倉庫の建設計画の予定はあるのか。

A 倉庫整備事業については、前向きに検討している。ただし、年間の主食米・飼料用米の保管・出庫体制について、全農組織グループを含めてどのような集荷・保管体制にするのか、定かでないところがある。それを踏まえながら、固定資産取得の計画とあわせて優先順位を議論して進めていく。

要望・その他

- 肥料農業の早期予約（年特）や、奨励措置なども行われているが、資材価格は年々上がり続けている。所得が確保できない農家にはとても厳しい。今後も、より良く機構改革を進めてほしい。
- グリーンの店舗は、繁忙期や農閑期など、それぞれの時期に合わせて体制・品ぞろえであってほしい。常に組合員の目線に立った店舗作りを期待したい。

真剣な表情で資料に見入る組合員
▼（写真はいずれも村山地区）





▲牛肉登場！数量限定、早い者勝ちです



▲ハウス内で作況を確認。左が今野プロジェクト推進専門員

出荷までの段取りもばっちり

村山さくらんぼ加温ハウス研究会は3月23日、今年のハウスさくらんぼの生育を確認するための園地巡回を実施しました。参加者全員で、加温ハウスさくらんぼ生産者全員のハウスを見て回り、北村山総合支庁農業技術普及課の今野勉プロジェクト推進専門員を講師に栽培講習会と出荷打ち合わせ会も行われました。



▲三角巾を八つ折りにして行う「三角巾法」を学習

「万が一」に備えて救護方法を学ぶ
当JAは3月10日、消防署員を講師に招き、JA職員を対象とした応急救護訓練を開催。災害などで怪我人が出た場合の処置について学びました。三角巾による止血や、添え木を使った骨折の応急処置を実践。少人数で効率的に怪我人を搬送する方法も学習しました。

グリーン創業祭へようこそ
JAグリーン全店舗で、3月19〜22日の4日間「JAグリーン大創業祭」として大売り出しを実施。尾花沢店は創業20周年、その他の店舗は8周年を記念し、買い物客全員に卵6個をサービス。恒例のみちのく村山産黒毛和牛牛肉も店頭に並び、パックを手にながら調理方法を教え合う主婦の姿も。前日が彼岸入りだったこともあり、彼岸料理に使う、えご草・昆布・からかいなども多く売れました。



▲「生産者と関係機関の努力でここまで来られた」とあいさつする柴田会長

たゆまぬ努力でブランド化推進を
村山営農センターつや姫栽培研究会は、3月23日に平成26年度の総会を開催。冒頭で柴田清一会長は「つや姫もデビュー6年目。今後も引き続き健闘しよう」とあいさつ。平成26年度の事業内容と収支決算の報告に続き、27年度の事業計画として、さらなるトップブランド化を進めていくことが確認されました。



▲堀専務理事による講演。暴力団やクレーマー対応について具体例を挙げて説明しました

法令遵守の理解をさらに深める

3月9日と10日の両日、当JAは全職員を対象にコンプライアンス全体研修会を行い、法令遵守の認識と理解を深めました。県暴力追放運動推進センターの堀俊彦専務理事による『反社会的勢力の排除と今後の課題』と題した講演も行われました。



▲目標確認、エイヤッ！（楯岡）



▲汗を流した後は、ごちそうを囲んで乾杯（楯岡）

度の事業内容について報告。27年度の計画も示されました。輪投げ大会では、「意外と汗をかく。輪を投げる時は笑っている余裕もない」と、参加者の一人は話していました。



▲夫婦で競い合う姿も（大倉）

飛び交う輪・輪・輪!! 輪投げで仲間と交流

楯岡地区年金友の会は3月4日、クアハウス基点で、輪投げ大会を開きました。地区混合で4チームに分かれてプレ親睦会も催され、食事を楽しみながら、全員で交流を深めていました。24日には大倉地区年金友の会が、大倉地域市民センターで総会と輪投げ大会を開催。総会では、グラウンド・ゴルフ大会や研修旅行など平成26年



▲「天候の変動に対応できるすいか作りを」と萩原氏

ポイントは「土づくり」！夏すいか研究大会

3月8日、「日本一の夏すいか研究大会2015」が尾花沢市のサルナートで開催。北村山農業改良普及事業推進協議会が毎年開いています。今年は奈良県の株式会社荻原農場・萩原俊嗣代表取締役社長が講師に招かれ、「重要なポイントは土づくり。土が健康なら作物も健康になる。自分で、自分の畑の土のことをよく知るのが大事」と講演しました。



▲(株)むらせでの情報交換会に臨む当JA役員



▲「まあ一献」「これからもお互い達者で！」

みんなで盛大に長寿をお祝い

3月6日と10日、大石田営農センターで「年金受給者友の会のつどい」が行われました。2日間あわせて、大石田地区の会員約220人が参加。大石田町民謡研究会の木村里美さんによる歌謡ショーも催されました。また、米寿と喜寿を迎える会員19人に賀詞が伝達され、記念品も贈られました。

卸市場などを視察研修
2月19日と20日の2日間、当JAの役員による視察研修が行われました。19日は、国会議事堂や衆議院会館の内部視察を行ったほか、鈴木憲和代議士の意見交換会も開催。また東京青果(株)で産地・消費地の情報交換会を開催しました。20日は、全国トップ5に入る米卸の老舗・(株)むらせで、米販売の情勢や今後の展望について学びました。



▲3月7日、大石田地区女性部の総会が行われ、社会福祉士の関智恵子さんによる講演会も開催。参加者は認知症対応について学びました。女性部員の作ったつるしまり・つるしびなの展示も行われました。



▲木村里美さんの民謡ショー



▲荒井幸博さんによる記念講演

唱和し、JA女性の歌「明日輝くために」の斉唱で締め括られました。続く記念式典で、高橋和子部長は「設立20周年の節目で、今年度は初の女性理事も選出されました。現在、日本の農業は大きな試練にさらされていますが、これからの女性らしい心をもって、食と農の大切さを次の世代に引き継いでいきたいと思います」とあいさつしました。アトラクションとして、大石田町民謡研究会の木村里美さんによる民謡ショーや、シネマパートナーティの荒井幸博さんを講師に迎えての記念講演も行われました。

みちのく村山 女性部

設立20周年を迎えたJAみちのく村山女性部。各地区での活動報告会を経て、3月14日に本店で第20回通常総代会と、設立20周年記念式典を開きました。総会では、平成26年度の事業報告や27年度の事業計画など4議案を承認。役員の変更も行われ部長に高橋和子さん(村山)、副部長に斉藤とよ子さん(尾花沢)と関智恵子さん(大石田)がそれぞれ再任しました。家の光大会では、普及表彰として3支部が表彰。最後は出席者全員でJA女性組織5原則を



3月7日、村山地区女性部の活動報告会と女性部まつりを開催。メンバーは、地区ごとに素敵な踊りを披露しました。

第20回通常総代会 & 女性部設立 20周年式典

あいさつする高橋和子部長。高橋部長は、平成27・28年度の県JA女性組織協議会の部長にも就任しました。



▲3月8日、尾花沢地区女性部の活動報告会。クアハウス基点のヘルスケアトレーナー・竹村美奈子先生を講師に迎えての健康体操教室では、瀬川瑛子の「みんないい女」に合わせて楽しく体を動かしました。女性部員の作った展示物も好評でした。



▲門出を記念して一枚。町のそば作りの未来が託されました

結末！「そばの里」の未来をになう
3月17日、大石田営農センターで、大石田そば営農組合の設立総会が行われました。「そばの里」として名高い大石田町で、そば作りの作業受託や作業の共同化、農用地の利用集積を進めて、地域のそば生産を守っていくと設立したものです。認定農業者も集落営農も全てが入る、大石田町全体で唯一のそば専用組織。今後は農業法人化も視野に入れながら、地域農業の担い手としてさらなる発展をめざします。



▲あいさつする太田組合長。参加者からは「ぜひ西郷地区の発展につなげて」との声も

団結！直播きが所得向上のカギ
3月10日、本店で西郷直播(ちよくは)生産組合設立総会が行われました。育苗をせず、種子を直接田んぼにまく「直播き」を地域で行うことで生産性の向上や作業の省力化につなげ、農家所得の向上をめざそうと設立されたもの。規約や、平成27年度の事業計画が承認され、当JAの太田和明理事が組合長に。「米作りの情勢は厳しい。順調に経営し、発展維持できるようがんばろう」とあいさつしました。



大石田町鷹巣

延藤 諒 くん(左)・旬 くん(右) (1歳9カ月)

◆お母さんから2人へ
「面倒をみるときは2人いっぺんなので、ちょっぴり忙しいです。だけど、うれしい時は笑顔も2人分。思いやりの気持ちを持って仲良くね♡」

淳一さんと志穂さんの三男と四男です。お兄ちゃんの諒くんは手を動かす遊びが得意で、弟の旬くんはボール遊びが大好き。とっても元気な双子です。食べ物の好みもおんなじで、保育園に通うようになってからは、フォークを使いこなすようになりました。上のお兄ちゃんも面倒をよく見てくれて、すくすく成長中の2人。言葉を覚えるのもびっくりするほど早く、「おふる」「保育園いくよ～」と声をかけると、すぐ反応するそうです！

18年前の『ふれあい』で「地区の水田を自分たち若い担い手たちで栽培していきたい」と話していた石山さん。現在はたくさんの方の組織で「長」の付く役を任される地元の名士です。「みちのく村山合併20周年おめでとうございます。当時はあまりピンと来なかったけど、結果的に合併してよかったと思います。あの頃は米も高く、青年部でも私が一番若い人でした。髪型もパンチパーマで、ね(笑)」



村山市本飯田
石山 公己 さん (49)



No.19
1996 (平成8) 年10月号
「ここでごんばってます！」
コーナーに登場！

JAみちのく村山合併20周年記念コーナー

私、出たことあるんです！！



No.32
1997 (平成9) 年11月号
「ここでごんばってます！」
コーナーに登場！



尾花沢市上柳渡戸
西塚 良一 さん (57)

17年前の『ふれあい』で「抑制すいかの産地育成にがんばりたい」と話していた西塚さん。息子さんのが後継者となった今は、趣味の狩猟に勤しんでいます。「市からの委嘱も受けてやっています。対象はクマ、ニホンジカ…。最近はイノシシも多いです」。写真は、イノシシをさばいて近所の皆さんに振る舞った時のもの。時間が経っても、扱うものが違っても、食べ物に「いねいに触れる西塚さんはまったく変わっていません。」

あれこれ

～遊・楽・Time～

石川さんたち仲よしメンバーの冬の楽しみは、月に一度、古殿(ふるどん)地区の公民館に集まること。ふだん農作業などで忙しい皆さんも、この時期は勢ぞろい。もう30年以上も続いているこの集会、最初は芋煮を食べながら「今年は何をやるか？」と相談します。今までも踊りや料理の勉強会などを開いてきました。今年、石川さんのアイデアで、和紙を使ったティッシュボックスや吊るし飾りを作成。「作ったものを眺めて、みんなでおしゃべりするのはとても楽しいです」と石川さん。お手製の毬と一緒に、素敵な笑顔を見せてくれました。



尾花沢市延沢
石川 利子 さん (64歳)



理事会 だより

第13回理事会が3月24日に開催。主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号 平成27年度内部監査計画の設定について
- 第2号 第七次経営管理3カ年(27年度～29年度)計画の設定について
- 第3号 平成27年度借入金の最高限度額の承認について
- 第4号 平成26年度固定資産(償却資産)の除却について
- 第5号 出資口数の減口承認について
- 第6号 平成27年度の余裕金運用方針及び運用方法について
- 第7号 信用事業規程の一部変更について
- 第8号 1組合員に対する信用の供与等の最高限度額及び組合員に対する貸付金利率の最高限度について
- 第9号 組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額及び組合員以外の者に対する貸付金利率の最高限度について
- 第10号 同一人に対する信用の供与等の最高限度について
- 第11号 大口貸出の承認について
- 第12号 利益相反取引の承認について
- 第13号 第7次広域営農振興計画書について

【報告事項】

- ・経過報告および行事予定について
- ・主要勘定・安全性の指標について
- ・平成27年度監事監査計画について
- ・平成26年度決算監事監査実施要領について
- ・内部監査実施報告(個人情報保護・貯金者データ整備)について
- ・内部監査実施報告(指摘事項検証)について
- ・JA全国監査機構期末監査I実施(購買棚卸・現金実査)について
- ・運営委員会・地区別座談会の結果と出席状況について
- ・平成26年度コンプライアンス研修等実施結果について
- ・平成27年度就業時間及び各部署の営業体制について
- ・和牛センター業務終了について
- ・平成27年度企画旅行について
- ・平成26年度県産米生産支援緊急対策補助金の申請について
- ・(株)みちのくサービスの事業計画書について

4月の税務相談

相談ご希望の方は、お気軽に4月24日(金)まで本店管理部総務課(☎55-6311)へお申し込み下さい。相談日時など詳細については後日直接本人にご連絡いたします。相談は無料です。

大石田農産物直売所 産直つなぎよりお知らせ

- 4月19日(日)より営業を開始します。
- 【営業時間】
- ◆4月19日(日)～10月31日(土) / 午前9時半～午後5時半
 - ◆11月1日(日)～ / 午前10時～午後4時
 - ※定休日：水曜日
- 【イオン山形北店で出張販売を行います!!】
- イオン山形北店で、下記の日程で出張販売を行います。皆さんどうぞ来店下さい。
- ◆日時 / 平成27年4月24日(金)～26日(日)
 - 午前10時～午後5時(26日のみ午後4時まで)

受講生募集中!!

- 平成27年度「県立農業大学校園芸教室」
- 基礎的な園芸の知識と管理作業について学ぶことができます。
- ◆期間 / 平成27年5月15日(金)から4回(1回2時間)
 - ◆会場 / 県立農業大学校「緑風館」
 - ◆募集人数 / 花きコース・野菜コース 各30名
 - ◆受講料 / 無料
 - ◆申込期限 / 平成27年4月28日(火)必着
 - ◆申込方法 / 氏名・住所・電話番号・希望コースを明記の上、以下へお申込み下さい。
 - ◆申込先 / 山形県立農業大学校研修部
〒996-0052 新庄市大字角沢1366
TEL: 0233-22-8794 FAX: 0233-23-7537
E-mail: kenshu@ynodai.ac.jp
- ※募集人数を超えた場合は、抽選になります。

JAグリーンからのお知らせ

春の農作業応援セール 期間：5月1日(金)～3日(日)

上記の期間、JAグリーン全店舗で売り出しを行います。皆様のご来店をお待ちしています。

なお、夏にかけての営業時間は以下の通りです。あらかじめご確認ください。

- ①4月1日(水)～4月30日(木) 8:00～18:30
- ②5月1日(金)～8月31日(月) 8:00～19:00

※無休で営業しています。

※グリーンたておかは全期間、17:30までの営業です。

ニホンザル有害鳥獣捕獲実施に関わる周知について

村山市では今年度も、ニホンザルの適正な頭数を管理し農作物被害を防止することを目的として村山市ニホンザル保護管理事業実施計画が策定されました。そのなかで個体数調整ということで年1回の捕獲申請で年間を通して下記の通りニホンザルの捕獲を実施します。つきましては、安全対策のため万全を期していますが、事故防止のためご注意下さい。尚、近隣園地、近隣住民の方のご配慮よろしく申し上げます。

- ◆実施期間 / 平成27年4月上旬～翌年3月下旬まで
- ◆対象区域 / 楯岡地区・大倉地区・東根市荷渡床の入り・袖崎地区
- ◆駆除方法 / 法定銃器(空気銃・散弾銃等)
- ◆駆除員 / 村山市猟友会

駆除員は「有害鳥獣捕獲従事者」と書かれた腕章、オレンジ色のベストまたは目立つ格好をしています。

◎お問い合わせ / 村山市有害鳥獣対策協議会
みちのく村山農業協同組合(村山営農センター)

旅行センターよりお知らせ

平成27年度は、JAみちのく村山合併20周年記念として、以下の旅行を企画しています。詳しくは『ふれあい』でお知らせしていきますので楽しみに!

- ★につぼん丸 サハリン・利尻クルーズ / 9月4日発
- ★長崎・軍艦島 / 9月上旬
- ★九州縦断旅行 / 11月下旬・12月上旬
- ★四国・山陰旅行 / 12月上旬
- ★芸能ショー / 11月25日
- ★につぼん演歌の夢祭り / 3月上旬
- ★わくわく夢らんど / 3月下旬

※予定は変更する場合があります。

旅行センター ☎55-6314まで
気軽にお問い合わせ下さい

【事故等の場合には】

JA共済事故受付センターまでご連絡ください。

フリーダイヤル ☎0120-258-931 24時間 365日 受付

【レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には】

JA共済サポートセンターまでご連絡ください。

フリーダイヤル ☎0120-063-931 24時間 365日 受付

(株)みちのくサービスからのお知らせ

中古農機情報

☆情報は随時更新いたします。
全農山形のホームページでもご覧になれます。 <http://www.zennoh-yamagata.or.jp/>

写真	銘柄	型式(種類)	整備状況	販売価格(税込)	備考
	三菱	MT266 (トラクター)	現状	864,000円	パルシフトMAC (自動水平・自動耕深) キャノピー付
	三菱	MPR61H (田植機)	現状	300,000円	ロータリ式
	三菱	MPR51H (田植機)	現状	300,000円	ロータリ式 ベースト
	三菱	MSR750RHF (除雪機)	現状	150,000円	
	ヤンマー	JE101D (除雪機)	現状	324,000円	空冷ディーゼルエンジン

◆ お問い合わせは最寄りの農機車両センターまで ◆
村山農機車両センター ☎(55)6130 / 尾花沢農機車両センター ☎(22)0088